JTTRI
Japan Transport and Tourism Research Institute

一般財団法人 運輸総合研究所

交通脱炭素シンポジウム
「カーボンニュートラルに向けた燃料転換の戦略 ～空・海・陸 各交通モードの最前線～」

■日時：2023年3月28日（火）14:00～17:00（開場:13:30）

■会場：ベルサール御成門タワー
およびオンライン配信（Zoomウェビナー）

※会場参加につきましては、新型コロナウイルス感染防止対策の観点から
人数を制限しますので、ご希望に添えない場合もございます。

ご　案　内

拝啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

一般財団法人 運輸総合研究所の業務につきましては、平素からの格別のご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび「交通分野の脱炭素シンポジウム」を開催することと致しましたので、ご多用中のところ誠に恐縮に存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ご臨席いただきたくご案内申し上げます。

敬具

2023年3月吉日

一般財団法人 運輸総合研究所　会 長　宿利　正史

趣　旨

温室効果ガスの排出削減が技術的に困難といわれる交通分野では、カーボンニュートラルに向けた燃料転換のさまざまな取組みが各モードにおいて進められています。バイオ燃料や水素系カーボンニュートラル燃料への転換、再エネ電力の活用等の取組みが世界で加速する中、日本の各交通モードはどのような戦略で燃料転換を進めようとしているのでしょうか。本シンポジウムでは、エネルギー及び航空、海運、鉄道、物流・トラック、空港、港湾の各分野の有識者にお集まりいただき、日本を取り巻くエネルギーと燃料の動向、各交通モードにおける最前線の取組み等を共有するとともに、脱炭素に向けた燃料転換を円滑に進めていくうえでの今後の課題と展望について、議論を通じて探ります。

各交通分野の関係者の皆様のみならず、カーボンニュートラルや日本におけるゼロ炭素・カーボンリサイクル燃料の利活用にご興味のある皆様の幅広いご参加をいただけますと幸いです。

お申込み

下記のURLよりお申し込みください。

https://krs.bz/jterc/m/symposium230328

（申込期限：3月24日（金）まで）

※お申し込みを頂いた方には、後日視聴用URL及び資料をご送付いたします。

お問い合わせ：
一般財団法人 運輸総合研究所（担当：矢内、菅井）
〒105-0001　東京都港区虎ノ門３－１８－１９（UD神谷町ビル）
TEL：０３－５４７０－８４１５　FAX：０３－５４７０－８４０１
E-mail：collo@jttri.or.jp　HP：https://www.jttri.or.jp/

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

JTTRI
Japan Transport and Tourism Research Institute

一般財団法人 運輸総合研究所

交通脱炭素シンポジウム
「カーボンニュートラルに向けた燃料転換の戦略 ～空・海・陸 各交通モードの最前線～」

プログラム

○主　催：一般財団法人　運輸総合研究所
○日　時：**2023年3月28日（火）14:00～17:00（開場:13:30）**
○会　場：ベルサール御成門タワー3階　および　オンライン配信（Zoomウェビナー）
※講師の許可が取れ次第、収録映像を公開する予定です。
○参加費：無料
○その他：会場内での撮影・録音は禁止させていただきます。

注）プログラムは変更になる可能性があります。

【開会挨拶】	14:00-14:05	宿利　正史	一般財団法人運輸総合研究所　会長
【来賓挨拶】	14:05-14:10	藤井　直樹	国土交通事務次官
【基調講演】	14:10-14:40	竹内　純子	国際環境経済研究所理事・U3イノベーションズ合同会社共同代表
【プレゼンテーション】			
	14:40-15:40	宮田　千夏子	ANAホールディングス株式会社　上席執行役員 グループCSO　サステナビリティ推進部長
		髙橋　正裕	日本郵船株式会社　執行役員 技術本部　担当　環境グループ・技術本部統轄グループ
		堀込　順一	東日本旅客鉄道株式会社　イノベーション戦略本部　R&Dユニット ユニットリーダー兼 JR東日本研究開発センター所長
		上野　公	ヤマト運輸株式会社　グリーンイノベーション開発部 グリーンイノベーション開発グループ　シニアマネージャー
		田代　敏雄	成田国際空港株式会社 営業部門　給油事業部 部長
		植松　久尚	横浜川崎国際港湾株式会社　取締役副社長
【休憩】	15:40-15:50		
【パネルディスカッション及び質疑応答】	15:50-16:55		
	モデレーター：	山内　弘隆	一般財団法人運輸総合研究所　所長
	パネリスト　：	プレゼンター	
【閉会挨拶】	16:55-17:00	江口　秀二	一般財団法人運輸総合研究所　主席研究員　兼　会長技術補佐

会場

ベルサール御成門タワー 3階
「御成門駅」A3b出口直結（三田線）
「大門駅」A6出口徒歩6分（大江戸線・浅草線）
「浜松町駅」北口徒歩10分（JR線）
「モノレール浜松町駅」北口徒歩11分（東京モノレール）
〒105-0011東京都港区芝公園1-1-1 住友不動産御成門タワー3F・4F　ベルサール御成門タワー
※近隣には「ベルサール御成門駅前」がございます。お間違えのないようお気を付けください。
https://www.bellesalle.co.jp/shisetsu/shinagawa/bs_onarimontower/access/

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

来賓のご紹介

来賓挨拶　藤井　直樹　国土交通事務次官

＜略歴＞
1983年 3月 東京大学法学部卒業
1983年 4月 運輸省入省
2013年 8月 国土交通省総合政策局公共交通政策部長
2015年 7月 同 自動車局長
2017年 7月 同 鉄道局長
2018年 7月 同 大臣官房長
2019年 7月 同 国土交通審議官
2022年 6月 同 国土交通事務次官

基調講演者のご紹介

基調講演 「日本のカーボンニュートラルに向けて　ーUtility3.0の世界におけるmobilityー」
竹内　純子　国際環境経済研究所理事／U3イノベーションズ合同会社共同代表

＜略歴＞
東京大学大学院工学系研究科にて博士（工学）。
慶應義塾大学法学部法律学科卒業後、東京電力株式会社で主に環境部門に従事した後、独立。複数のシンクタンクの研究員や東北大学特任教授を務める。内閣府規制改革推進会議やGX実行会議など、多数の政府委員も歴任。気候変動に関する国連交渉（COP）にも長く参加し、環境・エネルギー政策の提言を続ける。
2018年10月U3innovations合同会社を創業。スタートアップと協業し、新たな社会システムとしての「Utility3.0」の実現に、政策提言とビジネスの両面から取り組む。
12月22日に新刊『電力崩壊ー戦略なき国家のエネルギー敗戦』（日本経済新聞出版社）を上梓。
その他主な著書に、
『誤解だらけの電力問題』（Wedge社。2015年第35回エネルギーフォーラム賞普及啓発賞受賞）
『原発は"安全"か　たった一人の福島事故報告書』（小学館）
『エネルギー産業の2050年　Utility3.0へのゲームチェンジ」（編著、日本経済新聞出版社。2018年第38回エネルギーフォーラム賞優秀賞受賞）
『エネルギー産業2030への戦略　Utility3.0 の実装』（編著、日本経済新聞出版社）など。

プレゼンテーション及びパネリストのご紹介

プレゼンテーション 「カーボンニュートラル実現に向けたANAグループの取り組み」
宮田　千夏子　ANAホールディングス株式会社　上席執行役員
グループCSO、サステナビリティ推進部長

＜略歴＞
1986年1月、全日本空輸株式会社入社。
2011年6月スカイネットアジア航空(株)に出向。
2015年7月からANAホールディングス(株)に出向、
2017年にコーポレートブランド・CSR推進部部長となる。
2022年4月からANAホールディングス(株)上席執行役員、グループCSO(Chief Sustainability Officer)、グループ法務・グループ総務副担当、サステナビリティ推進部長に就任。

プレゼンテーション 「国際海事機関（IMO）での脱炭素議論と日本郵船の取り組み」
髙橋　正裕　日本郵船株式会社　執行役員
技術本部 担当 環境グループ・技術本部統轄グループ

＜略歴＞
1987年　早稲田大学政治経済学部　卒業
　学生時代は世界最大の学生団体であるAIESEC（当時62か国、現在126か国4万人が参加）のメンバーとして活動し、海外インターンシップ・プログラムでフィンランドの企業で実業体験を積む。
1987年　日本郵船株式会社　入社
1997年～2001年　ロスアンゼルス駐在
2001年～2008年　企画グループ　海運船主政策チーム（2005年からチーム長）
　７年間の在籍中、国土交通省、日本船主協会の担当として、船協の環境系幹事会の幹事、外国人船員問題、トン数税制の実現等に取り組む。
2008年～2013年　オランダ駐在
2016年　3年間の社外出向後、本社環境グループにグループ長代理として帰任。
　8年ぶりに日本船主協会の環境系幹事会に復帰。GHGタスクフォース座長として、日本国代表団の一員としてMEPC70（2016年10月）に初参加。以後GHG中間会合を含め、MEPC79（2022年11月）まで連続して参加している。
2017年　環境グループ長　兼　技術本部統轄グループ長
2022年4月より現職
注：AIESEC（アイセック）は仏語のAssociation Internationale des Etudiants en Sciences Economiques et Commercialesの頭文字です。

プレゼンテーション 「鉄道における脱炭素の取り組み」
堀込　順一　東日本旅客鉄道株式会社　イノベーション戦略本部　R&Dユニット
ユニットリーダー　兼　JR東日本研究開発センター所長

＜略歴＞
学歴：1989年　東京工業大学　社会工学科　卒業
　　1991年　東京工業大学　理工学研究科　社会工学専攻修了
職歴：1991年　東日本旅客鉄道株式会社　入社
　　2016年　鉄道事業本部　設備部（土木）次長
　　2017年　水戸支社　設備部　部長
　　2021年　JR東日本研究開発センター　防災研究所　所長
　　2022年　現職
業務経験：鉄道関連の土木構造物・インフラの維持管理および地震等の自然災害関連の防災・減災
　　東日本大震災後の常磐線全線運転再開に向けた復旧
受賞：土木学会　技術開発賞（2011年）
専門分野・研究テーマ：鉄道関連の防災・減災、脱炭素など

プレゼンテーション及びパネリストのご紹介

プレゼンテーション 「ヤマト運輸のカーボンニュートラルに向けた取組みについて」
上野　公　ヤマト運輸株式会社　グリーンイノベーション開発部　シニアマネージャー

＜略歴＞
2002年 岡山大学 環境理工学部卒業
2002年4月 ヤマト運輸㈱入社
2019年4月　設備管理部 車両課長
2021年10月 グリーンイノベーション開発部 シニアマネージャー
現在に至る

プレゼンテーション 「国際航空におけるカーボンニュートラルに向けた SAF導入による空港会社の役割と関係者の連携について」
田代　敏雄　成田国際空港会社　営業部門　給油事業部　部長

＜略歴＞
1988年　日本大学理工学部航空宇宙工学科卒
1988年4月　新東京国際空港公団（現　成田国際空港株式会社）入社
入社後、成田国際空港内にある地域冷暖房施設、上下水道施設、雨水利用施設などのインフラ施設、旅客ターミナルビル内の手荷物搬送設備、シャトルシステム等の機械設備など空港施設において幅広く施設計画、設計、施設管理等に従事。
民営化に併せて国内で初めてＣＯ2削減に向けた数値目標を持った成田国際空港エコ・エアポート基本計画を策定するなど環境業務に従事。
2018年7月より現職。

プレゼンテーション 「国際コンテナ戦略港湾におけるカーボンニュートラルポートの実現に向けた取組について」

植松　久尚　横浜川崎国際港湾株式会社　取締役副社長

＜略歴＞
1986年4月　横浜市入庁
2011年5月　港湾局港湾経営部長
2014年4月　交通局営業推進本部長
2017年４月　港湾局港湾物流部長
2018年４月　港湾局副局長（政策調整部長兼務）
2019年４月　港湾局山下ふ頭再開発調整室長
2021年４月　横浜川崎国際港湾株式会社　取締役副社長（現任）

モデレーターのご紹介

モデレーター　山内　弘隆　一般財団法人運輸総合研究所　所長

＜略歴＞
1982年　慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程修了
中京大学商学部専任講師、経済学部専任講師、
一橋大学大学院商学研究科教授、一橋大学大学院商学研究科科長兼商学部長を歴任
2016年　一般財団法人運輸総合研究所所長　（現在に至る）
専門領域は交通経済論、公共経済学、公益事業論、規制の経済学
その他、内閣府PFI推進委員会委員、国土交通省交通政策審議会委員、同社会資本整備審議会臨時委員等を歴任。
現在、資源エネルギー庁総合資源エネルギー調査会委員、総務省情報通信審議会専門委員、国土交通省交通政策審議会臨時委員、財務省財政制度等審議会臨時委員等。